

国家グループ 主権者意識向上委員会

Action! sheet



第三回全国高校生 ～政策甲子園事業～

<運動の背景・目的>

① 実施背景

投票率低下が続く若者世代に対し、政治を身近に感じ、自ら学び、意見を持ち、行動に移す意識を醸成する必要がある。

② 実施目的

若者が自らの暮らしと政治の繋がりを理解し、地域課題の解決に向けた教育や機会を提供し、政治参画の意識と姿勢を高めることを目的とする。

<実施スケジュール>

4月～	第一次審査エントリー開始
6月～	書類審査による第一次審査
7月～	第一次審査通過及び落選通知発送
7月下旬	地区予選大会(東日本地区、西日本地区、九州沖縄地区)
8月下旬	国会議事堂にて決勝大会
9月～	国民投票(インターネット投票)
10月～	所管大臣及び省庁へ最優秀政策報告会

<運動推進のステップ>

理想とする未来

若者が主権者としての責任を自覚し、政治や社会の課題に向き合い、自ら考え、発信し、行動し、誰もが平等に声を届けられる社会を実現していく未来。

01

準備・告知 フェーズ

- ・全国47都道府県ブロック協議会及びLOMIに告知と案内を行う。

02

募集・ 一次審査 フェーズ

- ・告知と案内及びチラシを活用し、参加を募る。
- ・一次審査エントリーを開始。書類審査で可否を決定する。

03

地区予選・ 決勝 フェーズ

- ・東日本地区は東京都議会議事堂、西日本地区は京都府議会旧議場、九州沖縄地区は糸島市議会場にて地区大会を開催する。
- ・決勝大会を国会議事堂にて行う。

04

国民参加・ 政策提言 フェーズ

- ・決勝大会の実施後、国民投票(インターネット投票)にて最優秀賞や特別賞などを決定する。
- ・各部門最優秀チームには、政策テーマを所管する大臣または関係省庁に対して直接政策のプレゼンをする。

運動
実行

必要に
応じて
軌道
修正

<パートナー、アドバイザー>

・内閣府

・(一社)選挙割協会 代表理事
佐藤 章太郎 様

政策甲子園及び主権者意識向上カリキュラムにおいて、政策提言実施の後援。

<サマーコンファレンスまでの成果>

① 運動としての成果

全国の高校で15ヶ所以上でカリキュラムを実施。また政策甲子園にエントリーすることで主体的に政治参画する意識が醸成される。

② 地域の変化

地域や社会が抱える課題に対し、若者達が主体的に向き合い、声を上げることができるようになる。

Gian Pocket

誰でも地域に合った運動の構築ができる!
運動の推進議案をチェック!

gian pocket



ACTION!

どうしたらいいかわからない!を解決する
相談・サポートの申し込みはこちらから!
日本JC の会議委員会が、2026年に向け
ての運動構築方法をサポート!

